

## 東京の総合的な交通政策のあり方検討会（第3回） 議事概要

### 1. 日時・場所

平成26年11月27日（木）13時45分～15時15分 ， 都庁第一本庁舎 7階中会議室

### 2. 出席者

別紙 参加者名簿のとおり

### 3. 議題

- (1) ヒアリングの実施状況について
- (2) 検討の全体構成について
- (3) 目指すべき将来像等について（第2回検討会資料の修正）
- (4) 将来像の実現に向けた取組の方向性・施策例について
- (5) 取りまとめ概要（イメージ）について

### 4. 主な発言要旨

〔岸井教授（座長）〕

- ・大きな方向性として、これまで東京の交通政策のあり方を考える上であまり強調されてこなかった視点を軸にした施策立案について提言したといえるのではないか。今回の提言が中長期のビジョンとして活用されるだけでなく、オリンピック・パラリンピックに向けて何を実施するかという議論をしていくべき。
- ・今回提示したものが、都民にとっても何をもたらすものなのかということの一つずつ見せていかなければいけない。
- ・成熟する東京の交通は世界一であるべきであり、実際その可能性が十分にある。これまでの交通手段別の整理・管理という考え方を乗り越えて、今後は利用者の一連の移動に着目することで、より質を高めていく発想で、施策の実現にむけた議論を進めてほしい。
- ・東京都だけでは全ての物事を解決はできず、一方市区町村だけでも主体的に動くことはできない。例えば、東京都と基礎自治体との関係であれば、実際に道路空間を扱う中では必ず区道や市町村道なども対象となってくる。東京都として動く部分と市区町村を支援する部分とをうまく使い分けする必要がある。
- ・具体的に施策を展開する上では、東京都としてモデルケースを示す必要があるし、一方で市区町村が主体的に動くときは東京都として積極的に支持するという立場を今後の長期ビジョンに位置づけ、施策の裏付けを行うべき。

〔屋井教授〕

- ・東京都として主体的にできる中身がどの程度入っているのか興味があったが、交通結節機能の充実や道路空間・水辺空間の活用の2本柱を挙げたことは高く評価できる。最終的に2本柱をより具体化して、都民の皆さんの視点から、身近なところでまだまだ改善しないといけない部分があるということを記述すれば、非常に良いまとめになるのではないかと。
- ・将来像の実現に向けた取り組み部分は、難しい部分もあるが、是非実際に取り組んでもらいたい。
- ・地区交通マネジメントについては、管理者や事業者だけでなく、沿道住民など関係者全てを含めてのマネジメントとなるはずである。例えば、具体の沿道の道路空間再配分などの話になれば、沿道の方々から反対となる。今はまだ沿道住民の合意形成という視点がはっきり表れてはいないが、是非取り組んでいただきたい。
- ・自転車について、ネットワーク計画はできただけでは駄目で、それを実現するための支援を東京都として進めていくといったことが必要であると、自転車走行空間の確保として記述したことは非常に高く評価できるし、今後どう進めていくかが重要。

〔竹内教授〕

- ・今回の成果を取りまとめるにあたり、今回議論した部分と、本検討会ではとりあげなかった、「経営」、「料金」、「費用負担」の部分の関係性を明確化して、残された課題について指摘する必要がある。
- ・交通政策に関する考え方の転換部分で、「交通手段別から利用者視点への転換」との文言があるが、「交通手段別」と「利用者視点」は次元が異なるものである。例えば、「事業者視点から利用者視点」或いは「交通手段別から交通手段相互」といった形で文言のレベルを合わせるべきである。ここは将来像の考え方を示す部分でとても重要。

〔安藤副知事（副座長）〕

- ・今回の検討会での提言を、提言したままでは終わらず、具体的な施策に向けて取りまとめる必要がある。例えば、駅まちエリアマネジメントなどをするうえで、何を具体的に検討して何を実現に向けて動かすのかははっきりさせる。
- ・この検討会とは別に同時に様々な検討会が動いている。それぞれが別個に動いており、考え方の大きな骨子となる考えがないように見えたが、今回の検討会で打ち出した考え方というのは、まさにその大きな骨子に該当するのではないかと。
- ・今回の成果・課題を踏まえて、これまで検討してきた内容をどう実現させるかが重要である。細かい部分に着目すれば少々足りないものはあるかもしれないが、全体として良いものができているのではないかと。

〔前田副知事（副座長）〕

- ・「東京の総合的な交通政策のあり方」の捉え方は多数あるが、これまで積み重ねてきたインフラなどの蓄積をベースにまずは足りないところをどのように補っていくという観点が今回うかがえた。
- ・今ある公共交通の考え方や人口動態が変化してきた場合には経営や費用負担といった概念も議論する必要がある。それでも、オリンピック・パラリンピックを控えている中、今後数年間の中での交通政策のあり方という視点を示せたことはありがたい。

〔佐藤都市基盤部長〕

- ・今回の検討会の成果品としては、これまでの検討会のまとめを知事に提出する。その上で、東京都として今回の提言を踏まえてできることを、来年度から実施に移していくべく取り組んでいく。

（文責 都市整備局都市基盤部交通企画課）

## 東京の総合的な交通政策のあり方検討会(第3回)参加者名簿

	役職名	氏名	備考
座長	日本大学大学院理工学研究科教授	岸井 隆幸	
委員	東京工業大学大学院総合理工学研究科教授	屋井 鉄雄	
委員	東京女子大学現代教養学部国際社会学科教授	竹内 健蔵	
副座長	東京都副知事	安藤 立美	
副座長	東京都副知事	前田 信弘	
委員	東京都政策企画局計画部長	小池 潔	
委員	東京都青少年・治安対策本部治安対策担当部長	村山 隆	代理
委員	東京都オリンピック・パラリンピック準備局輸送担当部長	荒井 俊之	
委員	東京都都市整備局長	安井 順一	
委員	東京都都市整備局技監	佐野 克彦	
委員	東京都都市整備局理事	西倉 鉄也	
委員	東京都都市整備局企画担当部長	福田 至	
委員	東京都都市整備局都市づくり政策部長	上野 雄一	
委員	東京都都市整備局景観・プロジェクト担当部長	小野 幹雄	
委員	東京都都市整備局都市基盤部長	佐藤 伸朗	
委員	東京都都市整備局交通政策担当部長	牧野 和宏	
委員	東京都都市整備局航空政策担当部長	山下 幸俊	
委員	東京都環境局都市地球環境部長	谷上 裕	代理
委員	東京都建設局道路保全担当部長	川合 康文	
委員	東京都建設局道路計画担当部長	横井 純夫	
委員	東京都港湾局開発調整担当部長	原 浩	
委員	東京都交通局企画担当部長	根木 義則	
委員	警視庁交通部交通規制課長	下田 進一	
委員	警視庁交通部交通管制課長	和田 敏一	